

市政ニュース

昭和43年10月1日発行 第199号
毎月1日15日発行 第一市部
発行所 五所川原市校

待望の一中・学校給食センター落成

< 豪華な校舎！ 一万食の設備 >

盛大な記念式典

九月三日、午前九時より
できあがつたばかりの体育

が奉食されて終了しました
ひきつづいて落成式が行な
われ、市長の式辞、鈴木市

在校生一
千四百名
を集めて
修ばつ
の儀が、十
時三十分
より落成
式がおこ
そかに、
盛大に行
なわれま
した。
修ばつ
の儀は、
斎藤神官
ら三神官
によつて
おこなわ
れ、佐々
木市長、
知事(代
理)建築
関係者、
小山校長
生徒代表
高松美幸
さんによ
つて玉串

建設課長の工事報告のあと
川島建築事務所、田附建設
第一中学校協賛会、サンウ
エーブ工業社、鶴谷建設、
東洋水道工業所、新谷電気
に感謝状を贈呈、知事(代
理)、県議会議員、県教育
長の祝辞、永井教育長のあ
いさつ、小山一中校長、第
一中学校生徒代表佐々木悦
郎君、市立小中学校校長代
越谷五所川原小学校長、児
童生徒代表として南小の田
中柳君が謝辞をのべ、校歌
祝歌の披露をして式を終了
しました。このあと、アト
ラクシヨンとして、第一中
生徒による合唱、ブラスバ
ンドの吹奏があつて、祝宴
に移りましたが、県下一を
誇る校舎体育館並びに給食
センターの立派さに、参列
者一同が感歎の声をもらし
ていました。

新校舎の概要

昭和四十年四月一日、五
所川原中学校と松島中学校
を統合して以来、新校舎の
建設を急ぎ、松島団地に敷
地三万四千六百平方メー
トルを確保しました。設計は
川島隆太郎建築事務所、施
工は田附建設があたり、昭
和四十年十一月二十五日着
工以来三年近い歳月を費し
て今年の八月十五日にでき
あがりました。

六千四百平方メートル鉄
筋コンクリート造りの三階
建の校舎、一千七百二十平
方メートルの鉄骨シェルド
ーム型構造の体育館は、レ
イコート二面をとれる広さ
で、ともに近代設備をもつ
マンモス校舎です。
建設費は、用地費を含め
て、三億三千七百万円を要
しました。

校舎は、普通教室三十二
特別教室十、管理諸室三十
九であり、これに対する生
徒数は一千四百名です。

体育館はまた、解体式の
立派な舞台設備が整つてお

＝ 明治100年 ＝

報 徳 訓

父母の根元は天地の生命に在り
身体の根元は父母の生育に在り
子孫の相続は夫婦の丹精に在り
父母の富貴は祖先の勤功に在り
吾身の富貴は父母の積善に在り
子孫の富貴は自己の勤勞に在り
身命の長養は衣食住の三に在り
衣食住の三は田畠山林に在り
田畠山林は人民の勤耕に在り
今年の衣食は昨年の産業に在り
来年の衣食は今年のかん難に在り
(尊徳二宮金次郎)

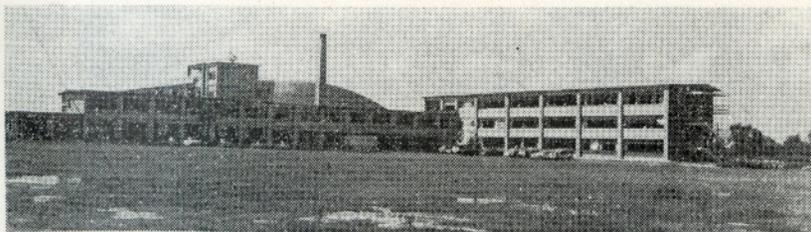
り三千名を収容できます。

給食センターの概要

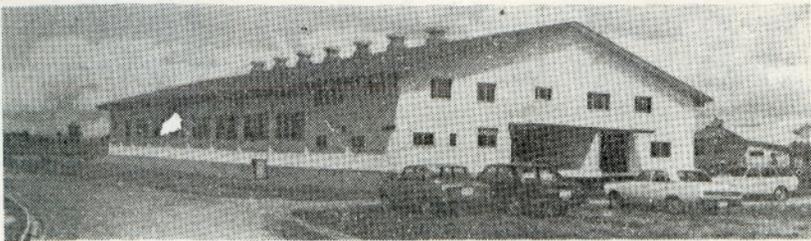
市内小中校二十五校の全
児童生徒に完々給食を実施
し、心身の健全育成と地位
の向上、教育効果の高揚を
目指して松島団地に建設
されたものです。敷地二千
八百平方メートル、建物面
積は一千平方メートルの鉄骨造
りです。その中に器具、機械
設備がなされた近代的な施
設です。

厨房設計はサンウエーブ
工業会社、建築主体工事は

鶴谷建設、給排水工事は、
東洋水道工業、電気工事は
新谷電気あたり、総事業
費は、七千四百五十二万円
昭和四十三年四月四日に着
工、八月十三日にできあが
りました。調理能力は一万
食で、九月十日から、五所
川原小、南小を皮切り、
逐次全市内の各校の児童生
徒(九千三百三十三名)に
給食が開始されます。
ともに仲よく同じ給食を
うけて、健全に成長発達し
次代の五所川原をになつて
もらいたいと、全市民の期
待がよせられています。



(校舎全景を南東より望む。円型の屋根は体育館)



(市内全児童生徒一万食の台所・学校給食センター)

市婦連で会旗制定



これまで 市婦人連絡協議会には会旗がなく、各種の集いの場合、もの足りなさを感じていたことを知った佐々木市長は、明治百年を記念して会旗を贈り婦人会の一層の発展を期待する

ことになりました。

たま〜昭和四十三年度市婦人大会が、九月十五日市民文化会館で開催された機会に、この授与式を行ないましたが、婦人大会の盛況とともに意義深い一日をおくり集まつた一千名の会員は感激していました。

式は、斎藤神官による入魂の儀につづいて授与に移り、市長から佐藤市婦人連絡協議会長に大会旗が、各地域単位婦人会にも、それ〜会旗がおくられました。なお、この会旗の図案者は市議会議員であり市婦人連絡協議会副会長の高満タカさんです。



(授与式)



(松島婦人会の五所川原甚句踊り)

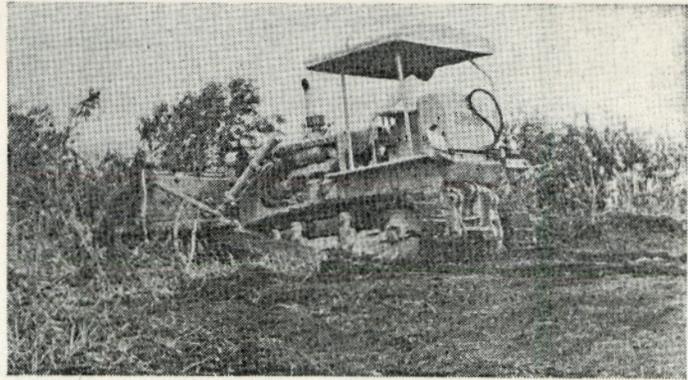
旧十川改修 森内排水機場の 早期着工を陳情

旧十川、森内排水機場はともに老朽甚しく、去る八月十一、十二日当地方を襲った一七八・八ミリメートルの豪雨によって、旧十川は氾濫、また昭和二十一年に設置された森内排水機場の能力の極度の低下によって二千ヘクタールの水田が冠・浸水、沿岸の住家は、床上浸水二百十戸、床下浸水四百七十戸という甚大な被害を蒙っています。さらにその後の、八月二十日の九十一・八ミリメートルの降雨にも、再び八百五十ヘクタールの被害を蒙るなどしたために、これが早期改修

改善について、地域住民から強く要望されるにいたりました。

すなわち、旧十川については抜本的な改修工事の必要性に迫られている実情を訴えており、森内排水機場については、旧十川とも関連があり、小田川土地改良事業の一つとして果敢で施行されることになってはいるものの、これより早期に実現してもらうために関係町である金木町とともに、関係機関へ佐々木市長が強力に陳情しています。そして降雨の都度、このような被害を蒙り、困却し恐怖におののいている地域住民の悲願にこたえて再びこうした災害が起らぬようにと、意欲的に動き廻っています。

ブルドーザー 梵珠山頂へ到達



(あすの観光地、津軽半島一望千里)

さきの青年の道建設隊とともに、道路の開発にあたっていた市のブルドーザーは、九月十日、遂に梵珠山上へ到達、市三メートルの歩道が完成しました。社会開発青年奉仕隊と同時に、後の沢口から開発に当たってから一か月余り、奉仕隊が二十七日五所川原を去つてからも作業がつづけられて梵珠山頂までの三キロメートルを開通しました。

この間、岩山あり巨木ありなどして、難渋しましたが、営林署、浪岡財産区の方々のご協力によってできあがったもので、関係者は心から感謝しています。

また、市青年団員は、ブルドーザーの燃料を背中で運ぶなどこの裏には並々ならぬ努力が払われました。この青年の道は、社会開発青年奉仕隊との約束もでき、来年度も継続されることになっており、馬神山をめぐって開発することになっています。

この道の開発は、国土縦貫道路設計画を刺激し、すでに結成されている津軽縦貫産業道路設計画からさらに浪岡、弘前、岩木町西目屋を経て秋田県藤岡町に至る奥羽縦貫道路の構想へと発展しています。

4日から五高祭

同窓生の集いは6日

戦前はバザー、戦後は文化祭、そして現在も名物仮装行列で親しまれている五高祭は、3年に1回行なわれていますが、今年は10月4日から6日まで「創造の歓びを求めて」をテーマにつぎのとおり多彩なプログラムで行なわれます。

4日10時半 仮装行列、5日・6日9時 作品展示会
5日9時半 演芸館、5・6日10時 食堂、喫茶室
売店 5日11時 西北五高演劇祭、6日9時半 音楽会
10時半 ブラバン演奏会、12時半 演劇発表会、フォークソング発表会、14時半 同窓生の集い、8日8時半 運動会。

飯詰不動の会総会開かる

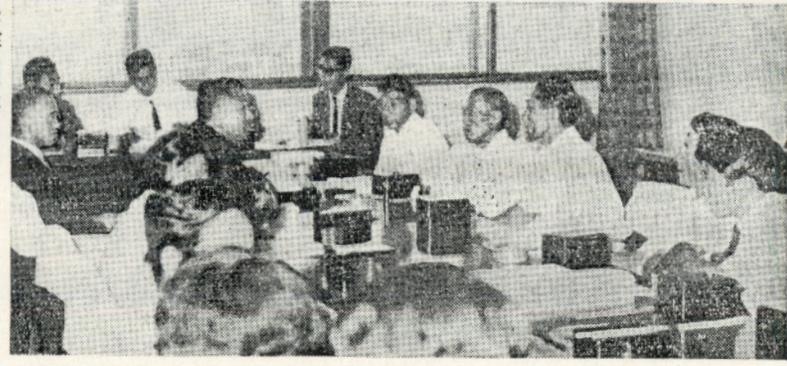
東京在住、飯詰の出身者で組織されている飯詰不動の会第四回定期総会が、九月二日午後一時東京・都道府県会館で約六十名が出席して盛況裡に開催されました。

たまたま、佐々木市長が水害復旧について上京を予定していたところ案内状が届いたので、津軽の粉菓子日常の五心の額縁入りなどを持参して贈り、最近の五所川原市の発展ぶりや将来の計画を話して激励しました。

また、飯詰中学校長、竹林順逸先生からは、飯詰の近況報告があり、ともに故郷の話に熱心に耳を傾けてむさぼるように聞いていました。とくに、粉菓子には、故郷の味を感じたといつて、その甘さに酔っていたようで、はる／＼東京へ運んでくれたことに、感激していましたし、また日常の五心は、座右の銘として、毎日の勤務に励んでいるとの便りがありました。

今年度の同会の役員は次のとおり決定をみました。

- 会長 中村 昭信
 - 副会長 柴田 定雄
 - 同 竹林 正人
 - 事務局長 島谷 喜治
 - 相談役 坂本 春吾
 - 同 秋元 秀実
 - 顧問 五所川原市長
 - 同 飯詰中学校長
- 市では、これを機会に今



（五所川原市の過去現在未来を語る）

月から、青森県東京事務所を通じて、市政ニユースを送付し近況を会員の方々に届けることになりました。

- 一、引揚者特別交付金 国庫債券の買い上げ償還について
- イ、買い上げの対象者
- 一、生活保護を受けているものであること。
- 二、現に保護を受けていないが、生活に困窮しているものであること。
- ロ、買上価格、限度額
- 券面種類別に、支払期限の到来していない残存賦札の額をもとに算出した別表価格とします。
- 一記名者につき十二万円を限度とし、同一記名者から二回にわたる買い上げは行ないません。
- 買上げの対象となる賦札

のうち一部が欠けている国債は買上げを行ないません

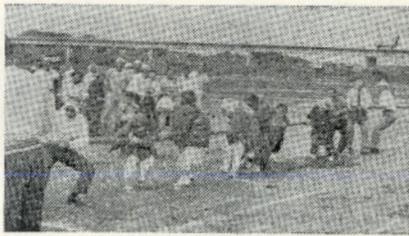
ハ、買い上げ償還の手続き

買い上げ償還を受けようとする記名者またはくわしいことをお聞きになりたい対象者は、市福祉事務所まで来所願います。

身体障害者体育大会 三好が優勝

第二回五所川原市身体障害者体育大会は、五所川原市身体障害者福祉会、五所川原市福祉事務所共催で九月二十三日午前九時から岩木川原グランドに於て佐々木市長を名誉大会長に、山谷大会長来賓多数の臨席を得て、会員約二百名の参加により盛大に開催され、走技、投技跳技を競いました。

総合成績は一位三好41点 二位五所川原36点、三位中川36点、四位七和31点、五位飯詰8点、六位毘沙門6点、七位栄4点でした。



(紅勝て白勝て)

市災害援護要綱 決める

去る二十三日の寺町の火災に際し、市では直ちに災害対策本部を設け、広報車を使って、罹災者の方々に呼びかけて、相談をうけ、救済に当たっています。

また、このたびの火災から被害者に対し、援護することを決めました。これは十五世帯以上火災にあつた場合を対象とするもので、市町村でこの要綱を定めたのは、当市がはじめてであります。

- 全統の場合
 - 一人家族 一五〇〇円
 - 二人家族 二〇〇〇円
 - 三人家族 二五〇〇円
 - 四人家族 三〇〇〇円
 - 五人家族 四〇〇〇円
 - 一人増す毎に五〇〇円を加算します。
 - 半統の場合
 - 一人家族 一〇〇〇円
 - 二人家族 一五〇〇円
 - 三人家族 二〇〇〇円
 - 四人家族 二五〇〇円
 - 五人家族 三〇〇〇円
 - 一人増す毎に三〇〇円を加算します。
 - 死亡の場合
 - 遺族一人に対し一万円以内の弔慰金を贈ります。
- 以上の要綱を決め、このたびから実施することになりました。なお、十五戸の基準に達しない場合でも、被保護世帯であつて援護の必要がある場合は適用することになっています。

事業 募金 派遣費 選手大会 青年協成 15周年記念

劇団新制作座公演・真山美保・作

野盗、風の中を走る

とき 10月12日(土)よる6時

ところ 市民文化会館ホール

主催 市青年団協議会

後援 市婦人連絡協議会 協議協栄 市文化振興会 協栄 五所川原市 劇団グミ

前売券 400円 (当日 600円)

川端町芸協・大町陸奥印刷・栄町たけみ文具店で発売中

毘沙門・長富地区に雹害



(水稲雹害調査)

九月十一日午前二時頃ものすごい雷雨の後、毘沙門長富地区に、大豆大の降雹があり、水田、りんご園など三百ヘクタールに、大きな被害を出しました。

市では、市長を先頭に直ちに現地を視察し、このほど、次のように被害状況をまとめ、関係方面に訴えています。

○水田被害状況

被害面積、二百五十ヘクタール
脱粒総重量、三万七千九百二十五キログラム
金額換算、五百十一万七千円

○りんご被害状況

被害面積、五十ヘクタール
損傷箱数、二千三十六箱
金額換算、八十二万五千円

以上のとおりですが、さきの水害の後かたづけも終らぬうちに、再びこの被害にあつた同地区の人達は無情な天災を恨んでいました。アール当り一俵以上も脱粒のあつた一農家の方は

天災だとはいえ史上二番目の豊作の夢も、これで駄目になりましたと、落胆していました。

ブーフーウーが泣いています

現在旧市内で一日に約二十トンのゴミが出て、この運搬処理に一日で約三万円の経費がかかっています。ゴミのうち燃えるものは風のない日を選んで、各家庭で焼却するようにしてください。また豚のエサの缶を用意し、豚の食べるものと食べないものとを区別して捨ててください。豚のエサの缶にガラス類やポロ切れ等が入っているため、エサを集める人も豚若も、作業が手間取り、泣いています。何卒市民のご協力をお願いいたします。

公害防止条例を ご存知ですか

昨年三月二十四日に県公害防止条例が公布されています。公害とは、生活環境が、ばい煙、粉塵、ガス臭

気、汚水、廃液、騒音、振動等によつて損われること等をいいます。
なお焼却炉、製材所、製肉施設、養鶏場、養豚場等を新設する場合は、着工一か月以前に保健所に申請しなければなりません。また既設の場合も速やかに申請しなければなりません。



読書の秋です 学童の目を守りましょう

文部省の統計によりますと、高校生は三人に一人の割合で近視になつています。受験勉強で目を酷使しているわけですが、もう少し照明に注意すればある程度近視は防げるはずで。

①スタンドだけでは目に悪い

良い照明とは「明暗の差が少なく、まぶしくなく、充分な明るさ」ということです。まっ暗な部屋でスタンドだけ使つていますと、目の筋肉はすぐ疲れてしまいます。スタンドのほかに天井灯を使つて部屋全体を明るくすることが大切です。

②目の健康によい 明視スタンド

スタンドには、読書用、寝室用、室内装飾用などいろいろあります。読書用には「日本工業標準規格JIS」で定められた明視スタンドがあります。このスタンドには「明視」と表示がしてありますから、お求めの際はご注意ください。

勉強するとき、スタンドは左手前に置くと手暗がりになりません。目と本の距離は三十七センチぐらい離すこと。近すぎると目を悪くします。

③一時間勉強 十分休憩

一般に小中学校では四十分授業して十五分休憩しますが、家庭で勉強するときも、一時間勉強して十分休憩と目を休めたいものです。この場合も遠方を見るようにすると疲れがとれます。(東北電力)

遊びません

こわい車の通る道

秋の交通安全運動
十月十一日から二十日まで全国一斉に秋の交通安全運動が行なわれることになりました。本県においては子どもたちの安全を守るうけのスローガンのもとに次の実施事項をきめて、交通安全思想の徹底をはかつて事故が起らないよう期待しています。

- 一、こどもの安全確保
- 二、飲酒運転の追放
- 三、道路交通環境の整備改善

国会討論演説会

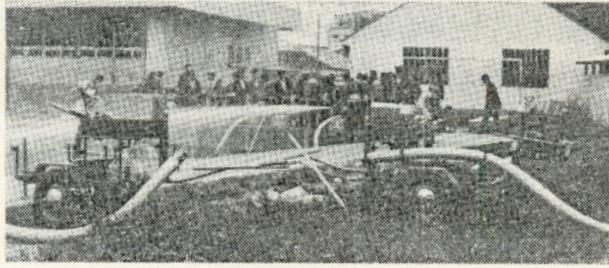
とき 10月9日(水) 夜7時
ところ 川原館
市民文化会
竹内黎一
津島文治
田沢吉郎
山崎竜男

四議員の演説終了後、聴衆から一人2分以内の質問を受け、これについて討論会も行ないますから市民多数のご出席をお願い致します。

県選挙管理委員会

火災シーズンに備えて 小型消防ポンプ4台購入

市ではさる二十日、東京発動機製B2級四十五馬力小型動力消防ポンプ四台を購入、第三分団第四部(浅井)、第四分団第一部(飯詰坂下)、第六分団第四部(沖飯詰)、第八分団第三部(長富)へ、それぞれ点検即日配置しました。価格は一台四十万円、合計百六十万円で、うち三分の一は国庫補助です。



(点検作業)

即死5・重傷15・軽傷25 大釈迦トンネル入口で?

五所川原警察署は、最近十勝沖地震や飛騨川バス事故など、全国的にも天災による大きな交通事故が相次いでいるため、この救助訓練を実施し、非常事態に対処出来るようにと、市消防署、市消防団、県警機動隊、交通安全協会、弘南バス、五所川原土木事務所、防犯協会、旅客業者、北五医師会、地区市民などの協

力を得、市内前田野目で二十日大がかりな救助訓練をしました。◇訓練想定 二十日早朝風雨注意報発令、風速七メートル、午前九時五警署に県から災害第二次指令発令、五警署では直ちに市消防署、土木事務所に警戒を要請す。午前九時五十分、大釈迦トンネル北方約百メートルの地点に



において、乗客四十五名を乗せたバスが、道路から十九メートル崖下に転落した。この現場を青森市へ行くタクシীর運転者が発見、五所川原市内のタクシー本社に急報。本社からの通報により五警署では関係救助機関に連絡、市消防署員三十名、

救急車一台、消防車二台、ジープ一台、市役所マイクローバス一台、市職員三十名、五警署自動車三台、署員五十名、医師五名、看護婦十名、前田野目消防団員五十名など二十五分後に現場に到着、早速救出作業開始。その結果、バスは三転して落下したためベンヤンコ

元氣いっぱい規律正しく 小学校体育連合大会

市教育委員会主催、市教研小学体育部会主管の第一回市内小学校体育連合大会(陸上競技)は、さる九月九日九時から北斗グラウンドで行なわれました。大会には市内十八の全校四年生以上が参加し、三年生以下は自由見学、種目もリレー、百メートル、千五百メートル、フオークダンス、鼓笛隊、ラジオ体操、先生の綱引き、リレーなど盛沢山でした。大会運営も、競技規則、競技記録などを刷り込んだ実施要項を印刷するなど、

元氣いっぱい、然も規律ある大会でした。微笑みかける太陽の真下で白い兎のようなチビッコ選手、赤い応援旗、青い揃いのデザインの大全校旗、そして黄色い声援など、色とりどりのパノラマのなかで、テントの中の佐々木市長、永井教育長、校長先生方も、立つたり坐つたり、伸び上つたり一喜一憂、スタンド?を埋めた父兄達も「ワラハドのハケジョヨあ一番いい」と陽焼けした黒い顔をしていました。

市議会・市青協・市農協が受彰

十勝沖地震救援活動で

さる五月十六日の十勝沖地震で、生埋者の発掘作業をした市議会、救援苗を搬送、援農作業した市青年団協議会、救援苗を提供した市農業協同組合が九月十日竹内県知事から表彰されました。表彰式は午前十時から、

青森市の自治会館四階ホールで行なわれましたが、市議会から泉谷議員、市青年団協議会から前田清勝会長、市農業協同組合からは成田専務が出席して、それぞれ感謝状と記念品をもらいました。



(市青協前田会長と感謝状)

給食センター操業開始



待望の一万食学校給食センターは、十日から五小、十一日から南小、十六日から一中に、それぞれ操業を開始しました。

取り敢えず、この旧市内の三校に給食していただきますが、運搬は日通に給食車で委託、食器とおいしいおかずの入った、真冬でも大丈夫というピカピカのステンレスのコンテナを、時刻正しく届けています。また、パン

の小林会長、長沢総務委員も、指をくわえていました。

牛乳は、工場がそれぞれ学校へ直送していただきます。十一月十一日のおごちそのうは、店開きというので、給食、バナナ、みかんのおいしい給食、牛乳など盛り沢山、喜ぶ児童達の顔を見て、たまにたまに見学に来ていた南小P

(おいし給食、バナナ、みかんの給食、牛乳など盛り沢山、喜ぶ児童達の顔を見て、たまにたまに見学に来ていた南小P)



(真冬でも冷めないコンテナ)



(センター自慢の給食車)

飯詰中・中谷孝子さんが優勝

<少年防犯弁論大会>

十月四日、黒石市中郷中学

九月二十四日、午前九時より、市立第一中学校体育館で、五所川原地区九中学校から二名の弁士が参加、計十八名によって、防犯を呼びかける熱弁がふるわれ聴衆を感動させました。

この大会は

校で開かれる県大会の子選を兼ねたもので入賞者は次のとおりで、県大会出場権を得ました。
第一位、中谷孝子(飯詰中)「光を失った父の愛を受けて」
第二位、高橋浜子(中川中)「非行の原因」
第三位、沢田祐子(長橋中)「この経験を生かしていきたい」
団体の部の成績は次のとおりでした。
第一位 飯詰中学校
第二位 長橋中学校
第三位 中川中学校



(個人優勝の中谷さん)

行政苦情 無料相談週間

行政監察局では、市役所市民相談室に坂本、小島両相談員を駐在させ、十月十四日より二十日まで、見出しのとおり無料相談を開きます。
どんな小さなことでも、苦情おありの方は、どしどしお出でください。秘密を守ります。

国際人権年論文募集

日本国際連合協会では、法務省、外務省、全国人権擁護委員連合会の後援を得て、世界人権宣言採択二十周年に当る本年を国際人権年と指定し、記念行事の一環として、国民一般の世界人権宣言に対する理解を深めることにも、その基盤である基本的人権尊重の意義の高揚をはかるため、世界人権宣言に関する論文を募集することになりましたので、市民多数が応募するよ

うお知らせします。

論題「人権と世界平和」「世界人権宣言とその影響」のうち一つ。原稿四百字詰五十枚以内。締切り、十月二十四日(当日消印有効)発表十二月十日。賞金、最優秀一篇十万円、優秀一篇三万円、佳作三篇各一万円送付先、東京都千代田区大平町二の八(日本ビル五二五号)日本国際連合協会「国際人権年記念論文コンテスト係」。

原稿には氏名(ふりがな)生年月日、職業(学生は学名、学部、学年)を明記すること。論文は日本語でペン書きすること。

昭和44年版

青森県民手帳 予約募集

県民手帳はいよいよ十月中旬発行の運びとなりました。この手帳は記入の便を図り、日記式とし、国と県および市町村の特性等を明らかにしたもので、官庁、会社、団体等の職員の手帳として、また中、高生徒の社会科の郷土資料として好適なものと思えます。なお家庭の日常便覧としてぜひ一部備えれば便利かと思えます。

内容は県の位置・総面積市町村数の変遷、気象表、山岳、河川湖沼池、人口数都道府県市町村勢、市町村長名、青森県庁機構、衆参県議員、中央・県内主要官庁、都道府県所在地、県の県外出先機関所在地、共済組合宿泊施設、郵便料金表道路標識、紙の仕上り寸法人体早わかり、病気の知識市外電話料金、衣類のしみ抜き方、親等系図、県内観光案内、汽車、バス時刻メモ表、郵便番号表等です。

県民手帳は日記で県勢の豆辞典であり、県民必携の日常宝典でもあります。価格は百三十円ですので、十月十日まで市役所統計係へお申し込み下さい。